

「鋸南町の中学校部活動地域移行について」

鋸南町教育委員会 B&G海洋センター
角田 康治(つのだ こうじ)

鋸南町とは

- 特徴 都心までアクアライン経由で約80分と近距離
自然豊かで山海に囲まれ夕日の富士山は絶景
鋸山や廃校を利用した道の駅「保田小学校」など観光名所も多い
住民と行政(役場)との距離が近く、きめ細かな相談や支援が可能
- 課題 人口6800人~千葉県で6番目に少ない市町村(町民所得も同様に少ない)
観光スポットがあり交流人口多いが定住人口少ない
少子高齢化が進み、学校のクラス減や農業や地域組織が衰退
町税減収で道路整備や公共施設整備が縮小
農水産業が基幹産業で大規模事業所がなく経済基盤が弱い

B&G 海洋センター

- B&G(Blue Sea and Green Land)財団(1973年開設)
青い海と緑の大地を場として、青少年の健全育成と地域住民の健康づくりをめざす財団
ボートレースの収益金で、全国480市町村に地域海洋センター(プール・体育館等)を建設し、
地元自治体に無償譲渡(千葉県内にも12か所)
- 鋸南町B&G海洋センター(鋸南町教育委員会が直営する施設 平成3年設立)
 - ・プール(水泳教室・水泳授業)・体育館(バスケット・バレーボール・卓球・バドミントン)
 - ・武道場(柔道・剣道・空手)・野球場(軟式野球)・弓道場(弓道)・ゲートボール場⇒ 年間約4万人の利用者

鋸南町の部活動地域移行の取り組み

- 令和5年2月 部活動地域移行協議会の設置
 - ・メンバー
 - 町スポーツ協会会長
 - 町スポーツ少年団団長(協議会の会長)
 - 町スポーツ推進委員連合会会長
 - 町総合型地域スポーツクラブ代表
 - 鋸南中学校校長、鋸南小学校校長
 - ・事務局~町教育委員会(教育長・教育課長・主任指導主事・社会教育主事)
- 令和5年4月 睦沢町教育委員会訪問
鋸南町と同規模の自治体で先進的取り組みをしている睦沢町を訪問
睦沢ふれあいスポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)が睦沢中学校卓球部・バレー部の
土日の部活動を指導

○令和5年7月 第1回協議会

今宮総括コーディネーターから県の地域移行について講話をいただく

地域移行の趣旨や方向性を確認（中学校卓球部の地域移行を目標にすることなど）

○令和6年2月 第2回協議会

進捗状況報告、中学校部活動指導員の設置について

○今後の課題

部活動指導員の設置を今後の地域移行にどう結びつけるか

町スポーツ関係団体による地域移行の受け皿づくり

町スポーツ関係団体の組織力をどう強化していくか（どう支援してくか）

町職員が手薄で兼務により業務を担当

町のビジョンを検討する場がなく、地域移行協議会の役割も不明確

柔道をととしての部活動地域移行（地域の競技団体として地域移行にどう関わるか）

・学校部活動は柔道の創始者・嘉納治五郎師範が創設したもの（地域移行には柔道家として抗いたい）

・柔道人口減少の課題（柔道事故やパワハラ等の問題、極端な勝利至上主義など）

・部活動地域移行の流れを利用し、柔道人口の維持と組織力強化を図る

・競技優先の柔道から余暇として楽しめる柔道へ

※安房柔道会では ⇒ 「安房柔道会クラブ」を団体登録 「柔道形講習会」を実施

おわりに

・学校対地域のスポーツの押し付け合い（先生も地域指導者も忙しい）ではなく、困っている学校を地域が助ける仕組みづくり

・地域移行は学校と教育委員会だけで考えるのではなく、スポーツ界全体で考えること

・「学校教育の改革」だけではなく「スポーツ環境を変える」ことを目標に取り組みたい

（略歴）

1961年 鋸南町生まれ、1980年 安房高校卒、1985年 早稲田大学教育学部卒

1985年～2022年 千葉県立高校教員（姉崎高・安房高・袖ヶ浦高・館山総合高・君津高）

2001年 新日本製鐵君津製鉄所（現・日本製鉄東日本製鉄所）勤務（長期派遣研修）

2007年～2013年 千葉県教育庁体育課（スポーツ振興室・ちばアクアラインマラソン準備室）

現在、千葉県柔道連盟安房柔道会会長、柔道七段